



音楽を通じて、東京の水辺に真新しい景色をつくる。

今秋、切腹ピストルズが全長23.5kmを練り歩き、  
遊覧船が往来し、あちらこちらにマーケットがやってくる。

2021年、春と夏に実施した  
Tokyo Tokyo FESTIVALスペシャル13「隅田川怒涛」の流れを汲む

## 隅田川全域を舞台とした「隅田川道中」開催決定！

大都市・東京の東側を南北にゆったりと流れ、長きに渡って豊かな歴史を育んできた隅田川で今秋、川の全域をつかった歴史上初の祭典「隅田川道中」を実施します。

和楽器集団・切腹ピストルズによる隅田川全長23.5kmの練り歩きパフォーマンスを中心に川沿いのテラスや公園・団地で開かれるマーケットや遊覧船での創作体験を、2日間に渡ってドドン!と展開していきます。

2022年秋、まだコロナ禍の中でありながらも少しずつ日常への回復の兆しが見えはじめ、全国各地の祭りも徐々に再開してきている状況のなか、隅田川全域を舞台にしたこの祭りから改めて、人と人との関わり合いを、水辺の未来の賑わいを、みなさんと一緒につくっていきたいと考えています。

## 01 プログラム：「隅田川道中」 練り歩きプログラム



「日本を江戸にせよ!」を合言葉に、野良着を身にまとい、和太鼓、尺八、三味線、鉦鼓などの和楽器を演奏する切腹ピストルズが、隅田川全長23.5kmを2日間かけて練り歩きます。

祭祀列島にっぽん。今も昔も祭りといえば、笛の美しい遠音や身体の芯にまで響く和太鼓のあの音色。祭りの音は、人々を非日常へと導き、秩序と混沌の境界線を曖昧にし、ひいては日常への活力を与えてくれる生活の中に根差したモノでもあります。和楽器は祭事だけでなく、飢饉や疫病といった災厄からの復興の願掛けにもずっと使われてきました。

「隅田川道中」では、切腹ピストルズが天下泰平・疫病退散を願い、隅田川南北を縦断します。最上流部・岩淵水門から最下流部・勝鬨橋までの23.5kmを踏破したその時、いったいどんな景色が広がっているのでしょうか、、、楽しみでなりません。



■切腹ピストルズ／せっぽくぴすとらず、又の名を江戸一番隊  
 全国に隊員二十数名、鉦・三味線・笛・太鼓での神出鬼没の路上演奏を得意とし、町・村おこし、祭、ライブハウス、フェス、デモ、神社仏閣奉納演奏、小学校から介護施設まで、あらゆる場所に現る。地方探索・民俗の研究、農、工商(雪駄・がまぐち・野良着・大工・意匠)、寺子屋、寄席、尺八指導など、隊員各々が展開。人呼んで「江戸時代へ導く装置」、自称「ニホンオオカミの残党」。愛用の絆纏は新潟小千谷片貝の老舗・紺仁製。大紋は丸一。判じ絵は矢鎌志(やかまし)。出囃子は「一丁入り」。2018年のNYタイムズスクエア、2022年のドバイ万博、シカゴ公演での演奏も話題となった。また近年の豊田利晃監督の映画音楽の提供は好評を得ている。



江戸・隅田川を上から下まで練り歩き演奏する、何とも僭越ながらではございますが、生まれつきの恥知らず、良く言やぁ前向き。そう、練り歩きてえのは前に歩いて事でございます。太鼓だ笛だ鉦だ、ひゅーひゅーとんどん小細工無し。疲れたら休みますよ。で、また続きだ。不思議な物で、ただ歩くと疲れる時も、見つけた律動に乗っかればこれが驚き、何てえこたぁない。それは重要なヒントだ。いにしへの時代より太鼓の音が重宝されるのは人智を超えたものですから、あたくしたちは前だけ見る。我々の活動の中でひとつの十八番となっているのがこういった練り歩きであります。ご近所の皆様から関係者の皆様のおかげさまにございます。もしもお時間許せば、あっちだこっちだと隅田川沿いの道中をそれぞれ祈願ぶらさげてどうぞ御一緒しましょう。

切腹ピストルズ 又の名を江戸一番隊 総隊長 飯田団紅

## 02 プログラム：「渡し」舟運プログラム



いにしえより兩岸を船でつなぎ、客や荷物を向こう岸へと運ぶ存在「渡し」。

隅田川では、平安時代から人々の足として使われ、江戸時代には江戸城の防衛上の理由で、人々は橋ではなく渡し船で川を渡っていました。大名や庶民たちは、日が暮れると渡し船に乗り、隅田川を遡上して夜の吉原・遊郭へ繰り出していったとか、、

**遊覧船：**現代版の渡し船を1日1便限定、この日限りのルートで通します。アーティストと自治体とが連携した遊覧&観光&体験型のプログラム。ことばを紡ぐワークショップや、川の環境に関する取り組みを企画しています。  
(プログラム詳細や出演アーティストは後日お知らせします!お楽しみに!)

## 03 プログラム：「河岸」マーケットプログラム



東京の市場のはじまりとされている、江戸時代の魚の卸売り市場「魚河岸」からとって「河岸」。

普段、隅田川界限で商いをされている地元の方々が出店する、この日限りのマーケットを隅田川沿いのテラスや公園、あちらこちらで開催します。水辺を彩る個性豊かなマーケットに、ぜひふらっと立ち寄って楽しんでいただけたら。「河岸」の参加団体、店舗さんは後日お知らせします!お楽しみに!

## 開催概要

- タイトル : 隅田川道中  
 日時 : 2022年10月29日(土)、10月30日(日)  
 会場 : 隅田川全長23.5km  
 参加費 : 参加費:無料(「渡し」乗船料は有料・事前予約制)  
 主催 : NPO法人トッピングイースト  
 後援(予定) : 関東地方整備局荒川下流河川事務所、東京都建設局河川部、中央区、台東区、墨田区、江東区、北区、足立区、公益財団法人東京都公園協会、一般社団法人東京北区観光協会  
 認定 : すみゆめネットワーク企画  
 助成 : すみだ文化芸術活動助成

## 「ready for」にてクラウドファンディング・スタート!

- タイトル : 舞台は隅田川全長23.5km!誰も見た事のない景色を一緒に作りたい  
 日時 : 2022年8月25日(水)~10月10日(月・祝)  
 目標金額 : 1,500,000円

自主企画として実施するこの「隅田川道中」を盛り上げていくべく、クラウドファンディングを実施します。リターンには、江戸文字勘亭流オリジナル「手ぬぐい」や「半纏」、乗船しながら切腹ピストルズを応援できる船遊び、など盛りだくさん。ぜひこの新たな祭りの開催に、ご支援をよろしくお願いいたします。

プロジェクトページ : <https://readyfor.jp/projects/sumidagawadouchu> (8月25日17時スタート)

プロジェクト内容 : <https://drive.google.com/drive/folders/1dr1klQyyq2jCOu2g-ywEQQcpVHdg7cjc?usp=sharing>

### NPO 法人トッピングイースト

墨田区両国を拠点に、音楽とアートを用いて地域づくりや場づくり活動を行っている。周辺地域の子ども達に世界中の響きの美しい楽器に触れてもらい、練習を重ねて発表会を行う「ほくさい音楽博」。古い家電を電子制御して新たな楽器を創作し、徐々にオーケストラを形づくっていく 和田永「エレクトロニコス・ファンタスティコス!」。アーティストによる地域リサーチ「BLOOMING EAST」という3つのプログラムを軸に、響きの美しい鮮やかな音粒を東東京エリアに振りまきながら、音楽がまちなかで出来ることを拡張している。2021年にはTokyoTokyoFEESTIVAL スペシャル13「隅田川怒涛」を企画、制作。

公式WEBサイト: <http://www.toppingeast.com>

### Tokyo Tokyo FEESTIVAL スペシャル13「隅田川怒涛」

2021年に実施した、隅田川の南北約10kmをひとつの舞台と見立てた、音楽とアートのフェスティバル。日本を代表するアーティストが、音楽、パフォーマンス、インスタレーションなどを「春」と「夏」の2回にわたって展開。約200年前の江戸の華やきを想い、この地の永い歴史に尊敬の念を込め、芸術表現活動を通じて、人々が怒涛のように混ざり合っていく姿を描くプロジェクト。

公式WEBサイト: <https://dotou.tokyo>

本リリース内容に関するお問合せ先

NPO 法人トッピングイースト 担当: 清宮(きよみや)、望月(もちづき)

Tel: 080-9671-7507 (平日 11:00 ~ 18:00)

E-Mail: [info@toppingeast.com](mailto:info@toppingeast.com)